

学校だより

小川中学校

No. 25

平成27年12月22日

文責：校長 佐藤正則

小川中プライドを高く掲げて

2学期は、無遅刻連続日数150日の達成を始め、各種行事や生徒会活動の取り組みが充実した学期となりました。また、部活動でも吹奏楽部や特設駅伝部が活躍し、注目を集めました。

無遅刻連続日数は、目標を達成した後も途絶えることなく2学期末まで続き、現在183日となっています。4月の始業式、入学式の日からずっと続いている無遅刻は、もはや小川中プライドの一つと言っているものと思っています。

現在、生徒会が進めている「あいさつ運動」（あいさつの声はもう少し元気に）と「遅刻者〇運動」を小川中プライドとして加え、こうしたプライドを胸に、毎日の生活はもとより、各種大会や受験に堂々と臨んでほしいと思います。



新年という節目を！

「節目」は生き方を振り返り、より良いものにしようと切り替える絶好の機会です。

1年間の様々な節目の中で、新年が一番大きな機会です。今年1年間の生活を振り返り、「できたこと、できなかったこと」を整理した上で「これからしたいこと、しなければならないこと」を書き出してみましょう。書き出したら、それに序列をつけ（優先順位）、並べてみると、自ずと2016年の目標が整理されます。

こうしたものを日頃目にするとここに貼り出してみましょう（有言実行の勧め）。

ただし、家族共有の場所に貼る場合は、家人の許可を得てからにしましょう。



第3位

「おがわっこ」

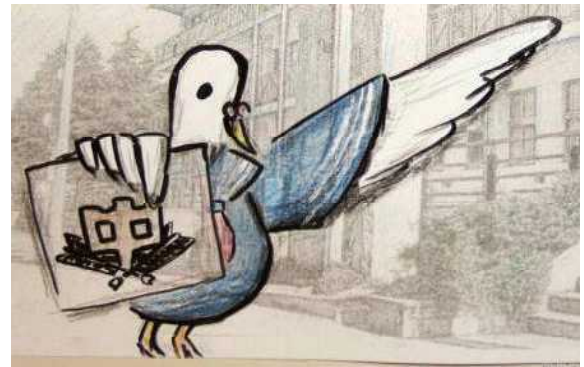
2年

佐藤真里奈 作

「ハクちゃん」は、本校の制服を着た夏井川の白鳥です。

「おがわっこ」は、小川の四季の美しさをまとった妖精です。

本校のゆるキャラ



第2位 「ハクちゃん」

2年 海野涼風 作

性教育講座

12月21日、午後から元一橋大学講師で日本思春期学会名誉会員の村瀬幸浩先生を講師に、本校体育館で開催しました。

「性」とは「どう生きるか」という問題とともに、様々な情報が氾濫する現在、体や心について、正しい知識を持つて判断できるようになることが、自分の今と将来を守り、周りの人とも良好な関係を築いて生活していく基本になることを、事例を挙げながらお話してくださいました。



来年度入学生への説明会開催

これまで2月初旬に行っていたのですが、今年度は12月18日に実施しました。

小学校最後の3学期を、小学校生活の仕上げとともに「中学生になる」という自覚で生活してほしいと考えたからです。「自覚的な生活は早いほうがよい」と考えています。

説明会では、はじめに中学校の授業の様子を見学しました。その後、体育館で中学校生活について説明を受け、最後に男女に分かれて部活動を見学して終了しました。



ラテン楽器をいただきました！

加藤ちゃぼさんから、本校吹奏楽部にラテン楽器が贈呈されました。ちゃぼさんは、現在、神奈川県茅ヶ崎市に住んでいますが、震災前まではいわき市に住んでいて、ラテン楽器の指導を精力的に行っていましたので、ご存じの方も多いのではないでしょうか？



いただいたタンボリンとパンディエロ

はじめにちゃぼさんからラテンリズムの指導をいただきました。吹奏楽部員たちは、最初はリズムとり

に苦労していましたが、さすが、あっという間に慣れ、楽しくリズムを刻んでいたのには感心しました。

また、ちゃぼさんと関係の深い「いわきベレーザ」というラテン音楽グループも来校して、ラテン音楽を演奏してくれましたので、とても楽しい一時となりました。



いわき市人権作文コンテスト
奨励賞 3年 添田 友貴

いわき市造形作品秀作審査会

特選 2年 海野 涼風

入選 1年 草野 衣織

田久 愛

小野 湊太

穂積 碧

沼沢のどか

中野 鈴花

鈴木 祐衣

2年

志賀 明優

佐藤真里奈

井戸川 都

松本 瑞希



12月初めに迷惑調査を行いました。

大きな問題は出てきませんでした。しかし、放っておくと「いじめ」に発展しそうな出来事がいくつかあり、保護者とも連絡を取って指導に当たっています。

これ以外でも、気になることがあれば、遠慮なく相談してほしいと思います。相談窓口としては、校長、教頭の管理職と養護教諭ですが、話しやすい教職員なら誰でも結構です。早めの対応が解決しやすいですから。



